

八日市地区コミュニティだより

八日市振興センター内
花巻市石鳥谷町大興寺8-157-4
電話/FAX 45-4840

公民館へ新型コロナウイルス感染対策の備品貸し出しと消耗品の配布を行いました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、八日市地区コミュニティ会議は地域内の各自治公民館へ下記備品の貸し出しと消耗品の配布を行いました。

【貸出】

- ・非接触型体温計 1 台

【配布】

- ・手指消毒剤（1ℓ）1 個
- ・マスク（50 枚入）2 箱



設置場所は各自治公民館長さんへ一任しております。第 11 区自治公民館に関しては、公民館長さんに管理をお願いしておりますので、11 区で活動している団体で使用したい場合は 11 区公民館長さんへご連絡ください。

また、コミュニティ会議でも 1 台購入しておりますので、公民館以外の活動などで使用したい場合は八日市振興センターへお問合せください（八日市地域で活動している団体に限ります。個人への貸し出しは行っていません）。地域の行事や活動の際には是非ご活用ください。

<7/20 からの施設の利用制限一部変更について>

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、利用を制限し貸し出しを行っておりますが、7/20 から一部制限が変更されましたのでご連絡いたします。

屋外施設を含め、利用される場合は必ず事前の申請と、使用後に参加者（出席者）の名簿の提出が必要になりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

下記以外の利用条件については振興センター（☎45-4840）へお問い合わせください。

	振興センター、ゲートボール場	構造改善センター
対象者	原則、市民・市内の団体のみ	
休館日	祝日、第2、第4月曜 12/29~1/3	毎週月曜 12/29~1/3
開館時間	8:00~22:00 ※ゲートボール場は日没まで	9:00~21:00
利用人数 ※対人距離(2m(最低1m))確保	活動室: 25人 研修室: 16人 調理室: 7人 ゲートボール場: 対人距離2mが確保できる人数	多目的ホール: 50人 会議室: 17人 調理室: 4人
利用時間	1回あたりの利用に対して時間制限なし	
調理	料理教室などの調理実習は可	
飲食	料理教室などの実習で調理した飲食物、会議等の茶菓・弁当は可（懇談や交流を目的とする会食は不可）	・昼食時などの弁当、スポーツ時の水分補給は可 ・料理教室などの実習で調理した飲食物、会議等の茶菓・弁当は可（懇談や交流を目的とする会食は不可）
その他	不特定多数が参加するイベント等不可	

●第1回 ふれあい昼食会として配食サービスを行いました●

7月7日（火）に第1回ふれあい昼食会として、民生児童委員さんにご協力をいただき、75歳以上で一人暮らしの方にお弁当を配りました。いつもなら交流館に集まり、楽しく語りながらの開催ですが、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、お弁当をお届けすることにしました。

次回は秋頃開催予定ですが、開催方法については決まり次第お知らせします。



<北寺地域による草刈り紹介> 北寺林公民館 館長 高橋秀典

今年度は新型コロナウイルス感染症により、各団体等の総会は、書面議決に始まり、活動そのものの動きが取れない状態が続いておりましたが、今月(6月現在)になってからは通常のペースに戻りつつあります。

当地域の草刈り活動を紹介します。北寺林地区(世帯数 201 戸)は、6/6 農地水にて農道の草刈りに始まり(参加者 81 名)、6/20 は受託組合による県道の草刈り(昨年参加者 64 名)、そして6/28 は公民館行事による河川敷の草刈りを実施しました(昨年参加者 81 名)。朝 5 時より八幡の鉄橋から松林寺橋の所までです。すごい面積ですが、前日に平面をトラクターモアにて草刈りを実施しているため、約 2 時間位にて終わることが出来ます。

毎年のごとですが、地域住民に大勢参加していただき、感謝しておりますし、今後も団結とパワーを継続していきたいと思っております。
“草との戦いは、まだまだ続きます”



各所花壇も整備しています



●ラジオ体操会開催!! ● 主催:八日市体育協会

7月23日(木・祝)八日市運動公園で、ラジオ体操会が開催され、50名の参加がありました。参加者は距離をとりながら、体をほぐしていました。参加者には参加賞として飲み物が配られました。

八日市の歴史探訪 遺跡・文化財の紹介《第2回》

今回は、富沢地区の史跡を紹介します。

《富沢館》

旧石鳥谷町内には、館や城といわれているものが20数カ所あります。

館や城、あるいは柵、砦(とりで)は、軍事的な目的をもって築かれた防御施設のことです。町内には、平安時代頃に築かれたと伝えられるものもありますが、ほとんどが鎌倉時代から室町時代あたりまでに築かれた中世の館、城と称されるものです。

中世の館は、豪族が数多くの戦乱から身を守る目的で築かれていることから、河川を利用した丘陵など険しい地形を利用したものが多くみられます。また、相手方からの攻撃を防ぐために、堀や土塁を巡らせた規模の大きいものもみられます。

富沢館は北側に黒森川、東側に葛丸川が流れる段丘上にあり、ここからは、それらの河川に広がる平地を見下ろすことができます。

館が築かれた時期や存続期間などは分かっていませんが、遺構などから推して中世に築かれた館ではないかと考えられています。館主については、当時稗貫地方を支配していた稗貫氏の家臣か一族と考えられますが明らかではありません。またこの頃、富沢を名乗っていた人に富沢



下野という人がおりますが、館との関係などは明らかではありません。相手方に氷の上を渡られて攻撃され、それによって落城したという言い伝えが残っています。

館跡は、水田の基盤整備によって当時の面影が失われてしまいましたが、稲荷神社付近から東南に堀が続き、この堀は葛丸川まで続いています。水田が整備される前までは、ここから西側にも堀が巡らされていました。この堀の南側には沢があり、これも葛丸川まで続いていた。神社の北側には石垣が築かれているといわれています。また、基盤整備を行った際には柱の跡なども出土したといえます。

館の北東には、稲荷神社があります。神位は正一位で歴史が相当に古いといわれています。館があった頃は、館神として祀られていたのではないかと考えられます。

館の周辺には館や中館、下館、軍宅など館に関係した地名や屋号が残っています。軍宅は、戦いの時に使用する槍、刀などを保管する場所だったといわれています。

6/21~7/20 の間で、新聞に掲載された八日市地区の慶弔情報はありません。